

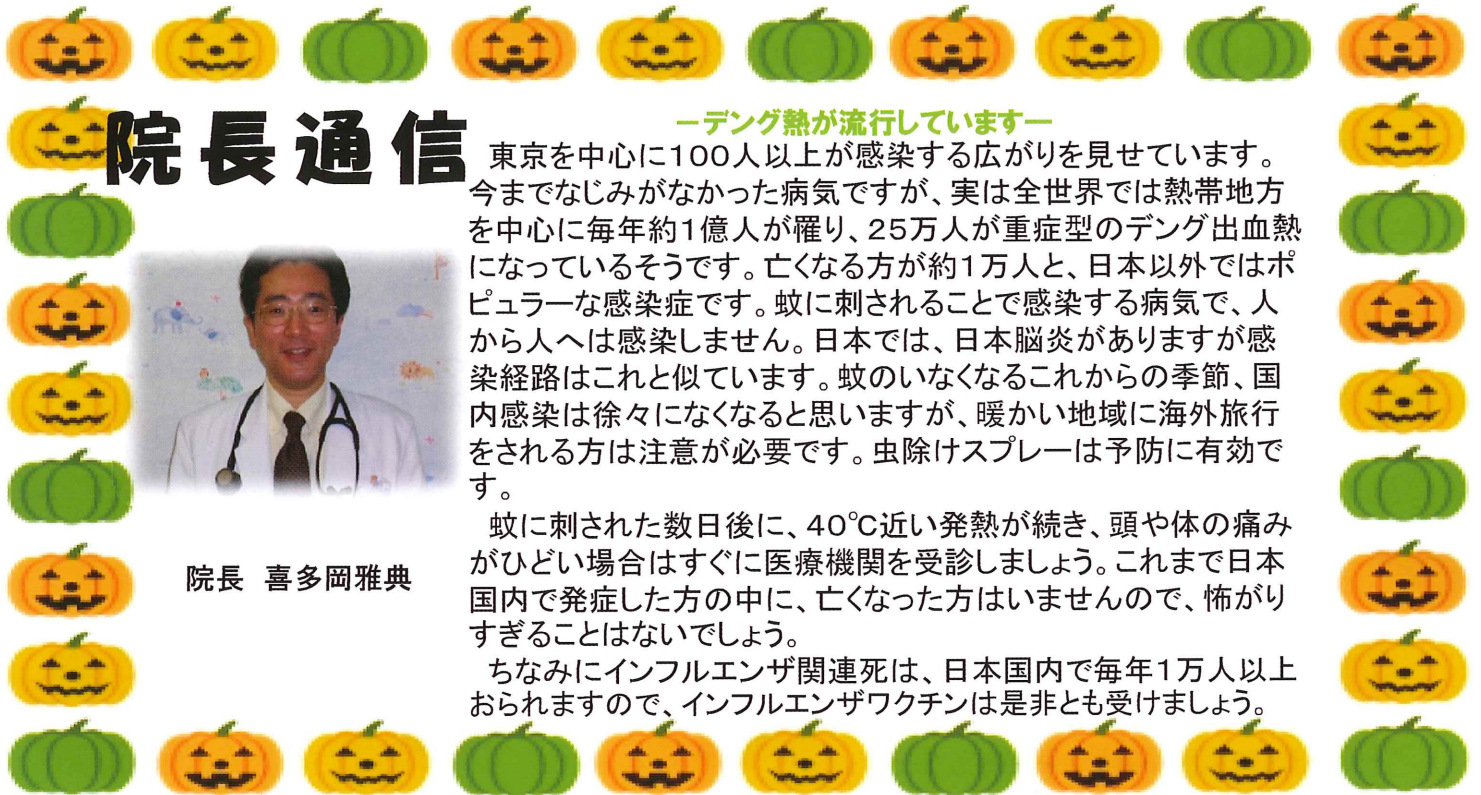


すまいる



Vol.9 秋号

発行 医療法人 喜多岡医院 2014 秋号 平成26年9月29日発行



院長通信

—デング熱が流行しています—



院長 喜多岡雅典

東京を中心に100人以上が感染する広がりを見せています。今までなじみがなかった病気ですが、実は全世界では熱帯地方を中心に毎年約1億人が罹り、25万人が重症型のデング出血熱になっているそうです。亡くなる方が約1万人と、日本以外ではポピュラーな感染症です。蚊に刺されることで感染する病気で、人から人へは感染しません。日本では、日本脳炎がありますが感染経路はこれと似ています。蚊のいなくなるこれからの季節、国内感染は徐々になくなるとは思いますが、暖かい地域に海外旅行をされる方は注意が必要です。虫除けスプレーは予防に有効です。

蚊に刺された数日後に、40℃近い発熱が続き、頭や体の痛みがひどい場合はすぐに医療機関を受診しましょう。これまで日本国内で発症した方の中に、亡くなった方はいませんので、怖がりすぎることはないでしょう。

ちなみにインフルエンザ関連死は、日本国内で毎年1万人以上おられますので、インフルエンザワクチンは是非とも受けましょう。

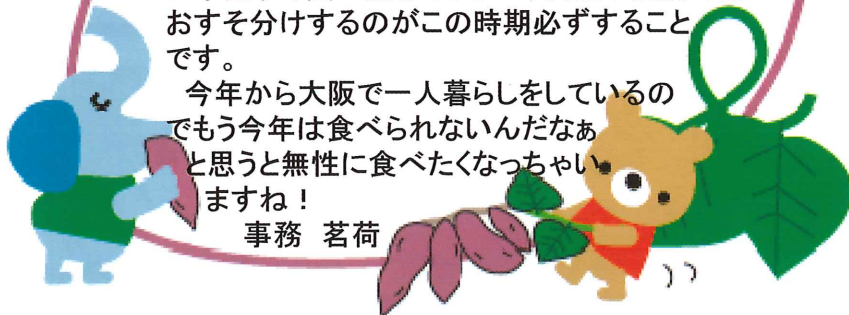
スタッフ通信

皆さん秋といえば何を思い浮かべますか？
読書の秋、食欲の秋、スポーツの秋など秋は何をするにしても最適な季節ですね！

私の両親は共に鳥取県出身で毎年この時期になると親戚から2.3箱(だいたい30個~40個)の大量の20世紀梨が届きます。毎年この量が届くのでうれしい半面すぐ食べ飽きてしまい、友達や近所の方へおすそ分けするのがこの時期必ずすることです。

今年から大阪で一人暮らしをしているのでもう今年は食べられないんだなあと思うと無性に食べたくなっちゃいますね！

事務 茗荷



冬休みのおしらせ

12/28(日)~1/5(月)
は休診日です

1/6(火)から通常
通りの診察です



あなたの健康のために



—みずぼうそうワクチン無料化、高齢者の肺炎ワクチン定額補助について—

この10月1日より、新しく、5才未満の子どもの水痘(みずぼうそう)ワクチンと、65才以上の高齢者に対する肺炎球菌ワクチン(ニューモボックス)の公費助成が始まりました。

水痘ワクチン

対象・・・1歳～3歳のお誕生日の前日まで
※ただし今年度に限り経過措置として
5歳のお誕生日の前日までが無料
接種者となります。

費用・・・無料

3ヶ月以上の間隔を空けて2回接種が標準です。明らかにみずぼうそうに罹ったことがある子は対象外ですが、最近大変軽いみずぼうそうが多く、免疫が残っていないこともありまますので、ご相談下さい。

大人になってかかる帯状疱疹(ヘルペス)にも、このワクチンは有効であることが分かっています。積極的に受けられることをお勧めします。

肺炎球菌ワクチン(ニューモボックス)

対象・・・65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳
100歳以上の方

※ただしすでに接種済みの方は対象外です

費用・・・4400円

肺炎は高齢者の死亡原因の第3位を占める、とても怖い病気です。この肺炎の3割は肺炎球菌が原因であり、以前より健康意識の高い方は自費でワクチンを受けておられることと思います。

5年間限定の助成事業ですので、対象年齢となった年に接種を受けられることをお勧めします。毎年のインフルエンザワクチンと併用することで、肺炎入院や死亡などの重症化の5-7割を減らすことができると言うデータも出ています。大阪市以外にお住まいの方は、当院では接種助成は受けられませんが、地元自治体にお問い合わせ下さい。

※水痘ワクチンも肺炎球菌ワクチンも、常に在庫はしておりませんので、お取り寄せが必要です。当院スタッフにお問い合わせ下さい。



胃腸のお話

—ぜんそくの原因が胃酸と関係ある?—



今回は逆流性食道炎のお話です。胸焼け・ゲップ・腹部膨満感などの症状で知られますが、胃酸が逆流して食道の付け根の粘膜を荒らしてしまうことが原因です。胃酸が逆流する原因は、体重増加により内臓脂肪が増え横隔膜を圧迫すること、夕食が遅く脂っこいものを摂ると夜間に胃酸分泌が亢進すること、加齢により胃の入り口の逆流防止機能が低下することなどが挙げられます。また最近では、ヘリコバクターピロリ菌の除菌により胃酸過多となる方も多く見られます。お腹の症状がなくても、咳だけが止まらないタイプの方もおられます。夜間就寝時にのどの付近まで胃液が上がってくるのが原因で、痰が絡んだ感じがするが、実際には痰の量は少なく、のどのイガイガした感じが取れず、乾いた咳がしつこく続く、いわゆる「咳ぜんそく」の状態です。

かぜは治っているはずなのに咳だけが続く場合や、喘息の治療薬を使ってもなかなか咳が止まらない場合、逆流性食道炎を疑ってみることも必要かもしれません。

※この場合、PPIテストといって、胃酸をおさえる薬を1週間飲んでみて、咳がおさまるかどうかを確認します。

内科・小児科・胃腸内科・肛門外科

(医)喜多岡医院

<http://www.kitaokaclinic.jp>

| 受付時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日祝 |
|--------------|---|---|---|---|---|---|----|
| AM9:00~12:30 | ● | ● | / | ● | ● | ● | / |
| PM4:00~6:30 | ● | ● | / | ● | ● | ● | / |

- 漢方治療
- 特定健診
- 胃カメラ(経鼻、経口)

- 日本消化器病学会認定 消化器病専門医
- 日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡専門医
- 日本大腸肛門病学会認定 大腸肛門病専門医



〒543-0052 大阪市天王寺区大道3丁目1-23 EMAビル2F TEL.06-6771-8025

